

《平成 27 年度》

学校保健委員会 資料



平成 28 年 1 月 21 日
広島市立黄金山小学校

平成27年度 定期健康診断

身体計測平均値

		身長 (cm)		体重 (kg)		座高 (cm)	
		男子	女子	男子	女子	男子	女子
1年	黄金山小	116.2	▲ 114.9	20.9	● 21.6	64.5	64.1
	全 国	116.6	115.6	21.3	20.9	64.8	64.3
	広島市	116.3	115.2	21.3	20.7	64.9	64.3
2年	黄金山小	▲120.7	121.4	24.2	▲ 22.6	▲ 66.8	66.9
	全 国	122.4	121.6	23.9	23.5	67.5	67.3
	広島市	121.9	121.2	23.8	23.3	67.5	67.2
3年	黄金山小	▲125.6	▲ 124.7	▲ 24.9	▲ 24.0	▲ 68.9	▲ 68.1
	全 国	128.2	126.9	27.1	26.4	70.2	69.9
	広島市	127.7	126.9	26.8	26.2	70.1	69.8
4年	黄金山小	▲131.1	▲ 130.0	▲ 27.2	▲ 28.0	▲ 71.2	▲ 70.9
	全 国	133.6	133.2	30.4	30.0	72.6	72.8
	広島市	133.2	133.2	30.1	29.7	72.5	72.6
5年	黄金山小	▲138.0	▲ 138.1	▲ 32.8	▲ 33.5	74.7	75.7
	全 国	139.0	139.7	34.3	34.0	75.0	75.8
	広島市	138.7	139.7	33.8	33.6	74.9	75.7
6年	黄金山小	●145.5	● 147.5	● 39.9	● 39.5	● 78.6	● 80.5
	全 国	145.0	146.3	38.3	39.0	77.6	79.3
	広島市	144.5	146.3	37.9	38.4	77.4	78.9

※全国平均と広島市平均の値は平成26年度のもの

●は本校が全国平均を0.5以上上回っているもの

▲は本校が全国平均を0.5以上下回っているもの

- ・本校の児童の身長、体重及び座高は、全国平均の値と比べて、0.5 (cm、kg) 以上下回っている項目が20あり、小柄な児童が多いと言える。
- ・6年生については、昨年度(5年生時)は、体重だけが全国平均をこえていたが、今年度は身長も全国平均を上回った。

学校医 (堂面先生:堂面医院) からのコメント

小柄な児童が多いという結果がでていますが、伸び率がよく、最終身長がきちんと伸びていれば、問題ないのではないかと思います。**22時~2時は、成長ホルモンが特に多く分泌される時間なので、その時間にいかに深い眠りにつけているか、それが大切だ**と思います。

また、小柄だと運動の発達が良いということが、言われています。

内科的疾患

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	本校の平均
脊柱側湾 (疑い)	・	・	・	・	・	・	0	0%
ぜんそく	1	2	3	3	2	2	13	11%
アトピー性 皮膚炎	2	・	2	・	1	1	6	5%
ぎょう虫 (1～3年)	・	・	・	—	—	—	0	0%
合 計	3	2	5	3	3	3	19	16%

※1 肥満度20%以上の児童の数

※2 成長曲線が-2SD以下の人数

— は検査をしない学年

・ぜんそく、アトピー性皮膚炎については、個人差はあるが、ほとんどの家庭で医療機関に受診し、適切な治療をおこなっている。そのた

学校医（堂面先生：堂面医院）からのコメント

側わんの児童が一人もないというのは素晴らしいことです。一般的に、5年生から6年生にかけて身長が大きく伸びるので、この期間にあまり運動ができていないと、脊柱がS字状に曲がり、側わんになります。側わんは、早期発見・早期治療が重要で、きちんとした治療を早期におこなっていれば、ほとんどわからないほどになるので、疑いや診断がおりた場合は、しっかり医療機関を受診してほしいと思います。

耳鼻科疾患

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	本校の平均	広島市平均
耳	聴力	・	・	・	—	1	—	1	0.8%	0.3%
	耳垢	・	・	1	・	・	・	1	0.8%	5.4%
	その他の 耳疾患	・	・	・	・	・	・	0		
鼻	鼻炎	・	・	2	2	1	1	6	7.6%	15.2%
	アレルギー 性鼻炎	・	・	1	・	2	・	3		
	その他の 鼻疾患	・	・	・	・	・	・	0		
咽喉	扁桃腺 肥大	・	1	・	・	・	・	1	1.7%	0.7%
	扁桃炎	・	・	1	・	・	・	1		
合計		0	1	5	2	4	1	13		

※聴力は、1000Hz30db、4000Hz 25dbを聴取できなかった人数

眼科

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	本校の平均	広島市平均
視力 (BCDの人数)		3	8	7	9	7	13	47	39.5%	23.9%
矯正視力実施者		1	1	1	3	7	7	20	16.8%	10.6%
アレルギー性 結膜炎		2	2	2	1	5	0	12	11.8%	6.6%
その他の 眼科疾患		・	・	・	1	1	・	2		
合計		6	11	10	14	20	20	81		

※ 視力 A : 1.0以上 B : 0.9~0.7 C : 0.6~0.3 D : 0.2以下

★ 2~4年生対象に色覚検査を実施して、全員異常なしという結果だった。

- ・アレルギー性鼻炎に関しては、広島市平均より低い結果となっている。アレルギー性結膜炎は広島市平均より高いが、学校生活に支障をきたすような症状の児童はいない。
- ・視力については、視力0.9以下の児童が広島市平均より多い結果となっている。全国学力調査・生活調査より、原因として本校児童のテレビゲームをする時間が長いことが考えられる。

学校医（安川先生：安川眼科医院）からのコメント

色覚検査で異常のある児童はいなかったということですが、色覚異常のある児童がでた場合には配慮が必要だと思います。視力0.9以下の児童が多い結果となっていますが、テレビ・ゲーム平均4時間というのは多いと感じます。視力低下の環境要因になるので、家庭の協力も必要だと思います。その分、学校ではしっかりと外遊びをさせてください。

学校医（岡田先生：には耳鼻咽喉科アレルギー科）からのコメント

今回の健康診断の耳垢は、医療機関受診が必要なものをあげています。検診の前日には、家庭での耳かきに協力していただけたいと思います。

これからの季節、辛い花粉症の症状だけでなく、睡眠が浅くなり、睡眠不足の人も例年多くみかけます。本格的なシーズンが来る前に、症状がでたら受診されることをおすすめします。

春の歯科検診結果

	検査人数	むし歯がなかった人	むし歯があった人			処置率 (%)	歯列咬合顎関節	歯垢	歯肉
			処置した人	未処置の人					
1年	19	16	3	3	0	100%	0	1	0
2年	18	12	6	4	2	67%	0	1	1
3年	21	13	8	6	2	75%	1	1	1
4年	19	12	7	6	1	86%	1	1	0
5年	15	14	1	0	1	0%	0	2	2
6年	24	18	6	3	3	50%	3	0	0
合計	116	85	31	22	9	71%	5	6	4

- ・むし歯があった児童の治療状況は、高い状況にある。
- ・歯科検診は春と秋に実施している。今年度、秋の歯科検診を午前中に実施した結果、江夏先生から、「歯垢の付着が目立つ」というご指摘をいただいた。歯磨きを行うタイミングについて、継続的に指導を続けていく必要がある。

学校医（江夏先生：江夏歯科医院）からのコメント

今年度は、はじめて秋の歯科検診を午前中に実施して、歯垢の付着が気になりました。基本的には、歯みがきは毎食後に行ってほしいと思います。保護者の方も忙しいと思うのですが、**夜の歯みがきだけでも、丁寧に仕上げ磨きをしていただければと思います。**子どもたちの発達段階では、自分で完璧に歯みがきをするというのは難しいです。

よく、「何才まで仕上げ磨きをしたらいいですか？」という質問をうけます。私が思うのは、「利き手がしっかりと発達するまで」です。利き手がまだ発達段階であるうちは、細かい動作などは難しく、動かし方が身につく途中の段階だからです。**発達を妨げないように、自立を促しながら、仕上げ磨きをしてもらえればと思います。**

また、どれだけ歯が汚れているかを見せるために透明なコップに水を入れて、その中に使用した歯ブラシをいれて水の汚れている様子を見せるという方法もあります。ぜひ取り入れてみてください。

平成27年度 保健室来室状況

期間：平成27年4月～平成27年12月

内科

▼病気の来室状況

学年	在籍数	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	合計	1人平均
1年	19	3	0	6	0	2	1	0	3	15	0.79
2年	19	5	4	6	5	5	9	5	1	40	2.11
3年	21	0	0	0	0	0	0	7	1	8	0.38
4年	20	0	3	3	0	3	0	3	2	14	0.7
5年	16	2	0	0	1	1	3	0	1	8	0.5
6年	24	0	3	1	1	2	0	5	0	12	0.5
合計	119	10	10	16	7	13	13	20	8	97	0.82

在籍数は平成27年12月末現在

外科

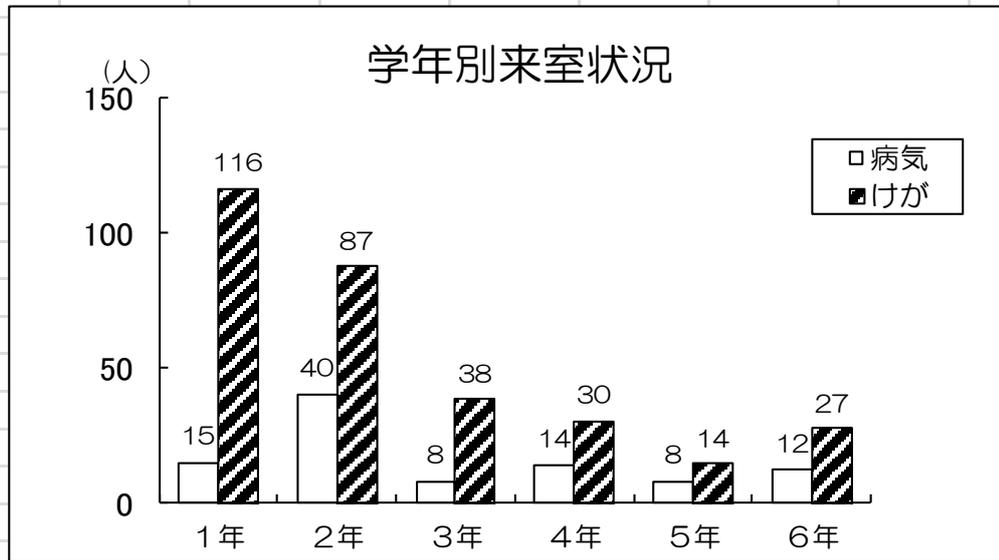
▼けがの来室状況

学年	在籍数	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	合計	1人平均
1年	19	21	13	16	5	12	20	17	12	116	6
2年	19	10	12	11	6	7	12	13	16	87	5
3年	21	8	2	3	1	8	4	10	2	38	2
4年	20	2	3	5	2	4	4	5	5	30	2
5年	16	2	2	1	0	2	4	2	1	14	1
6年	24	3	8	2	1	2	8	1	2	27	1
合計	119	46	40	38	15	35	52	48	38	312	3

★学年別来室状況

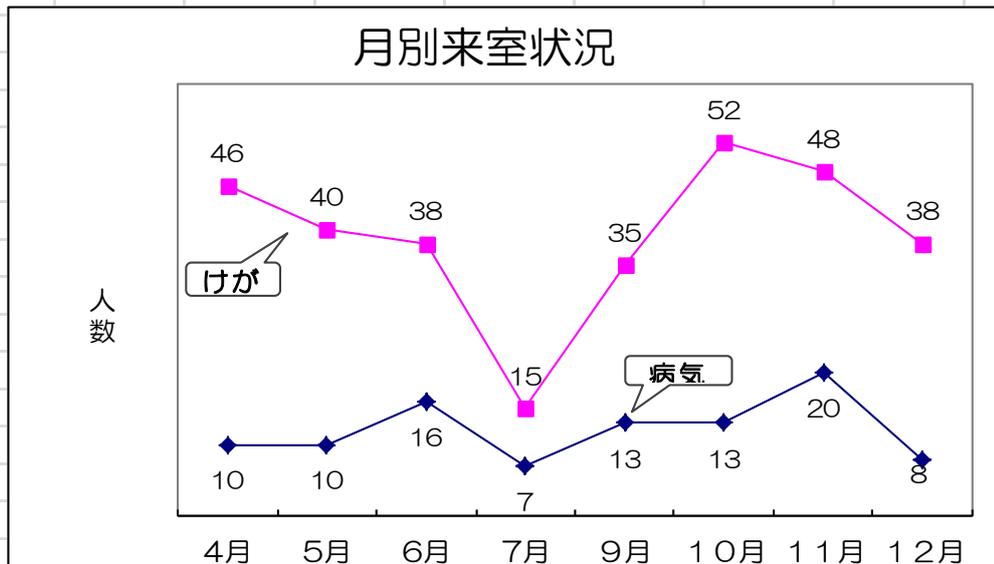
	病気	けが
1年	15	116
2年	40	87
3年	8	38
4年	14	30
5年	8	14
6年	12	27

・低学年のけがが多い結果となっているが、初めての経験や、危機予測がむずかしいといったケースが多かった。学年があがるごとにけがを予防する能力が身についていっていると思われるので、低学年に向けて遊び方や身の守り方について、引き続き指導していく必要がある。



★月別来室状況

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月
病気	10	10	16	7	13	13	20	8
けが	46	40	38	15	35	52	48	38

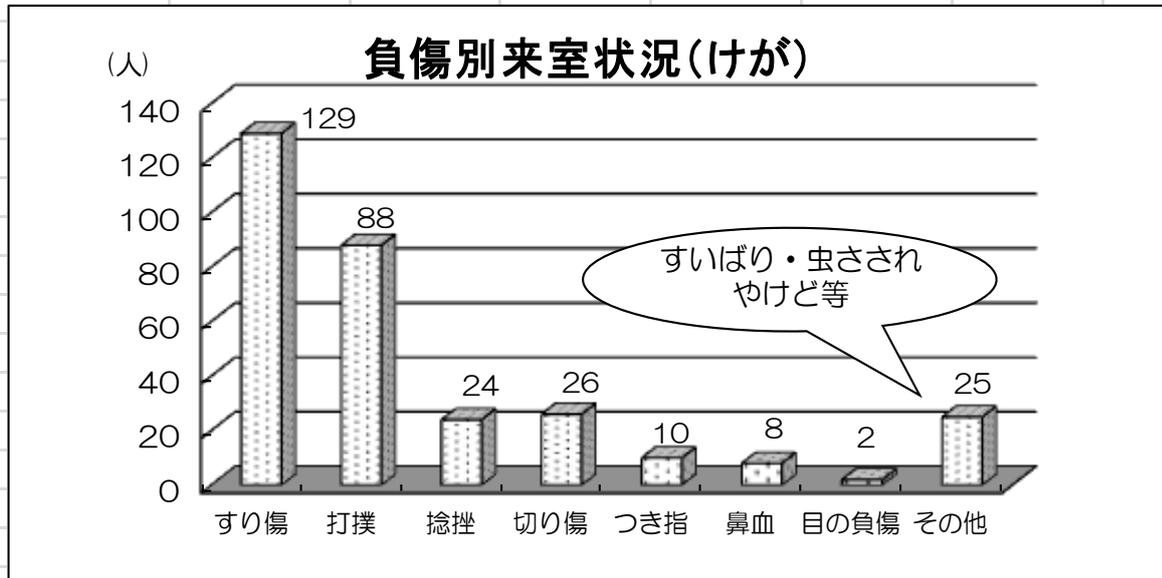


・病気での来室は、冬にむけて気温が大きく下がる11月が一番多かった。
 ・けがについては、学年があがるごとに、体の成長や、経験から、危機管理能力が身につく、来室件数が下がっていると考えられる。

★負傷別来室状況（けが）

すり傷	129
打撲	88
捻挫	24
切り傷	26
つき指	10
鼻血	8
目の負傷	2
その他	25

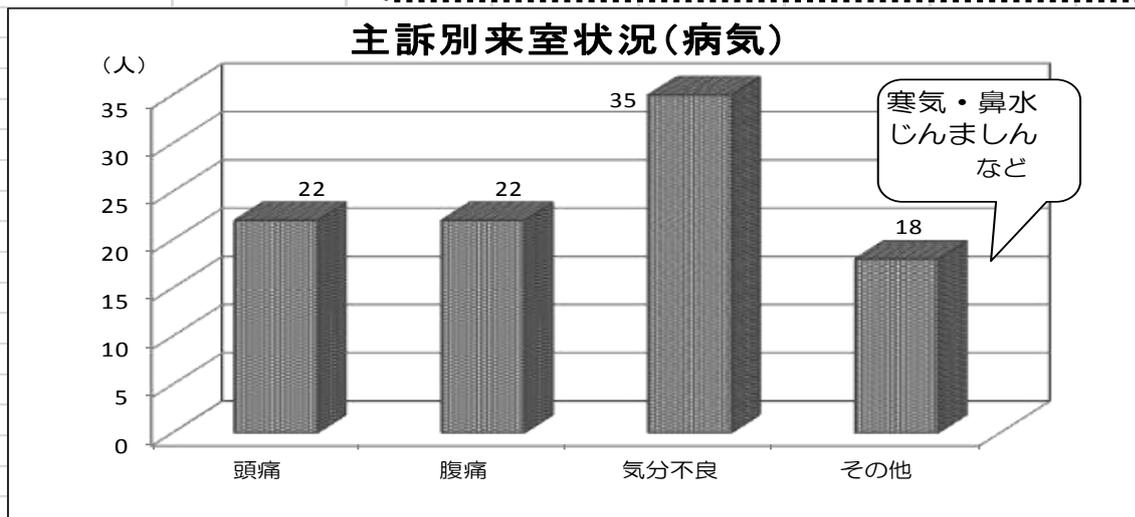
・すり傷や打撲が多い結果となった。すり傷や打撲は体育の授業や、休憩時間におこりやすいけがである。切り傷では、「紙で切った」が大半をしめている。
 ・けがが多く発生する場所、場合について児童に継続して指導していくことで、けがの未然防止ができるのではないかとと思われる。



★主訴別来室状況（病気）

頭痛	22
腹痛	22
気分不良	35
その他	18

・気分不良が一番多い結果となっているが、その中でも吐き気を伴うものは少なく、休養して回復するといったケースが多かった。しんどいときには、すぐに担任の先生に訴えることができる学級の雰囲気があると考えられる。



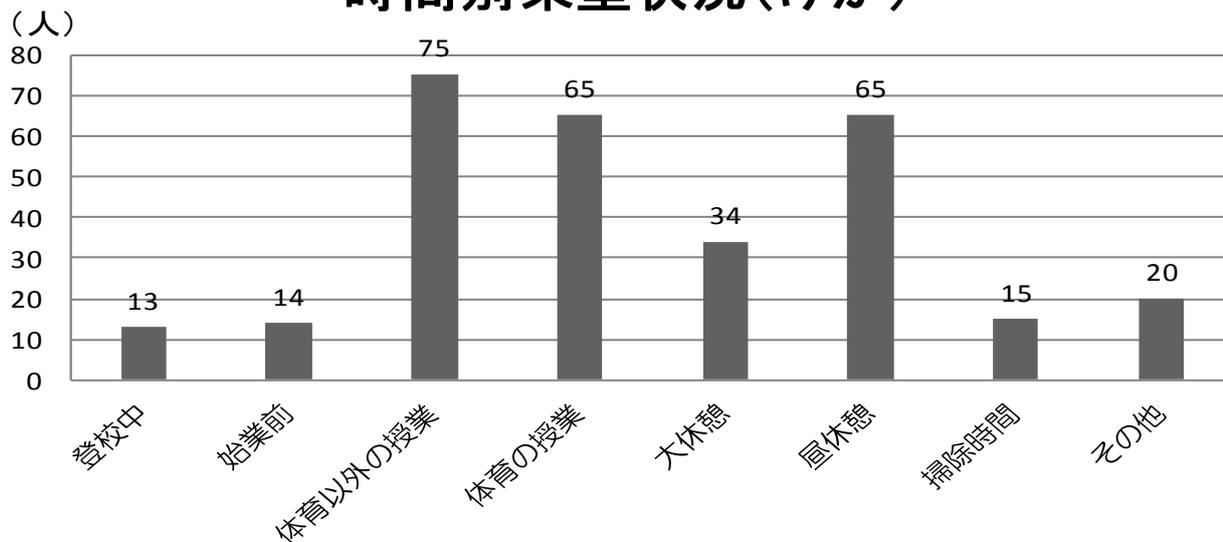
学校医(堂面先生：堂面医院)からのコメント

曜日ごとの件数をだしてみると、月曜日が多いことがあるようです。それは、不規則な生活を送っていることで、体のリズムが整っていないということも原因の一つとしてあるのではないかと思います。そのような背景で何度も来室するような児童がいたら、家庭との連携が必要だと思えます。

★時間別来室状況（けが）

登校中	13
始業前	14
体育以外の授業	75
体育の授業	65
大休憩	34
昼休憩	65
掃除時間	15
その他	20

時間別来室状況（けが）



- ・「体育以外の授業」が一番多い結果となっている。「机と机の間に指を挟んだ」「紙で指を切った」「すいばりが刺さった」などが多い。授業中におこるけがは、注意していれば防げたものも多く、今後は危機管理についても継続的に指導していく必要がある。
- ・また、本校では、休憩時間は外で遊ぶ児童が多く、休憩時間のけがは、ほとんどが外で遊んでいた時のものである。

プール水質検査

- 1 回目の検査では、大腸菌が検出された。塩素消毒が不足していたためだと考えられる。

学校薬剤師（池田先生：池田博愛堂薬局）からのコメント

今年度の開放プール水質検査で、大腸菌が検出されたということですが、経験上、10 年に一回くらいの頻度で起こることがあります。大腸菌の中には O157 などの危険な菌もあるので、プールの使用を停止しなければいけません。**水質の管理とともにプールの利用方法について、指導を徹底する必要があると思います。**

照度検査(1・3・6年生)

- 1 年生教室、3 年生教室、6 年生教室で実施し、基準を満たしていた。
- 池田先生から、日光が強い場合は、カーテンを閉めないでと眼精疲労になるというご指摘をいただいた。

空気検査

- 基準を満たしていた。

平成27年度 新体力テスト 結果

学年	性別	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ソフトボール投げ
1	男	101%	68%	109%	99%	53%	94%	79%	90%
	女	94%	94%	110%	104%	87%	98%	86%	122%
2	男	101%	106%	97%	103%	106%	105%	101%	141%
	女	96%	86%	95%	97%	81%	91%	95%	134%
3	男	85%	80%	103%	91%	82%	95%	85%	97%
	女	96%	98%	100%	99%	86%	100%	100%	128%
4	男	89%	97%	141%	92%	92%	100%	102%	87%
	女	104%	96%	125%	105%	105%	101%	100%	145%
5	男	82%	85%	101%	94%	83%	95%	95%	99%
	女	90%	100%	109%	100%	70%	101%	107%	122%
6	男	105%	101%	117%	106%	98%	101%	102%	113%
	女	93%	85%	115%	98%	90%	97%	104%	122%

◎とてもよい

110%以上

○よい

109~105%

▽あまりよくない

95~90%

▼よくない

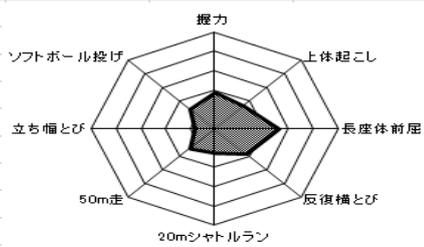
89%以下

○ 数字は、全国平均値(平成25年度)を 100 とした場合の指数を表す。

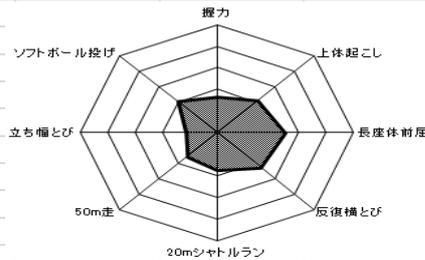
- ・「握力」「上体起こし」「20mシャトルラン」は、全国平均値を下回っている。
- ・「長座体前屈」は全国平均を大きく上回っている。
- ・「反復横跳び」は昨年よりやや向上した。
- ・「50m走」は、ほぼ昨年度並みだった。全国平均値とあまり差がない。
- ・「立ち幅跳び」は、やや向上しているが、1年生男女の平均が特に低い。
- ・「ソフトボール投げ」は、全体的に全国平均を大きく上回っている。
- ・全体的に体力・運動能力が低い。

◆ 体力の大きさとバランス (得点別グラフ)

1年男子

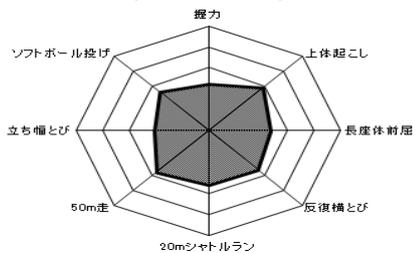


1年女子

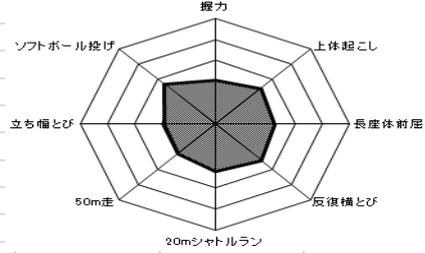


—9—

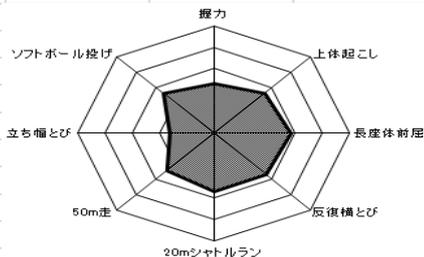
2年男子



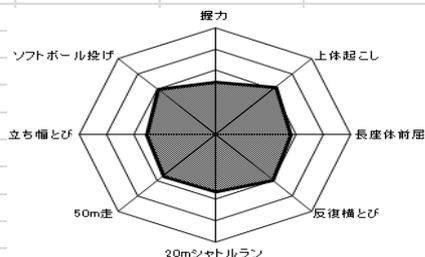
2年女子



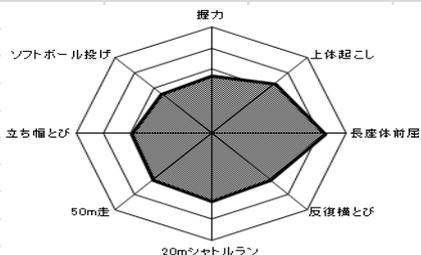
3年男子



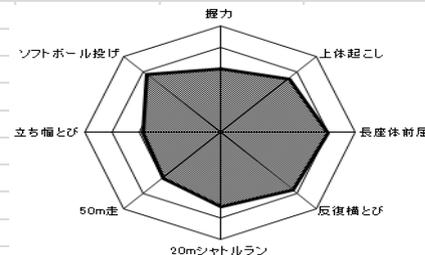
3年女子



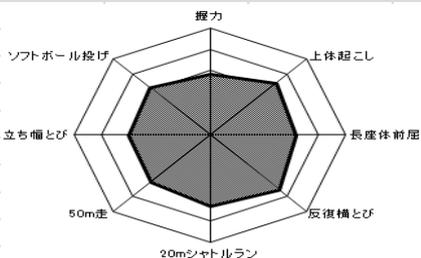
4年男子



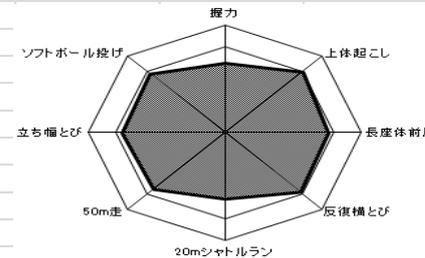
4年女子



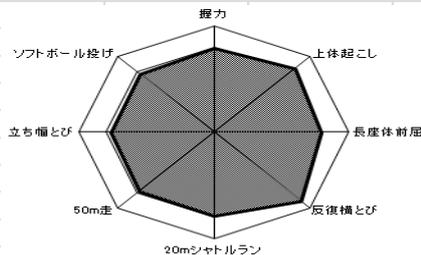
5年男子



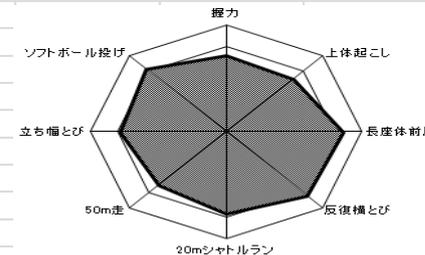
5年女子



6年男子



6年女子



—10—

本校の残食率について

好きなメニュー	苦手なメニュー
カレーライス・ハヤシライス めん類（うどん・中華そば・スパゲッティ等） 丼物（牛丼・親子どんぶり 等） 唐揚げ（魚の竜田揚げ・肉の唐揚げ） 揚げパン（きな粉・ココア・砂糖等をまぶした物）	酢の物・中華風コーンスープ じゃがいもの含め煮・マカロニスープ ひろしまっこ汁・温野菜 小いわしのからあげ・さんまの煮付け さばの梅煮・小松菜のまぜごはん

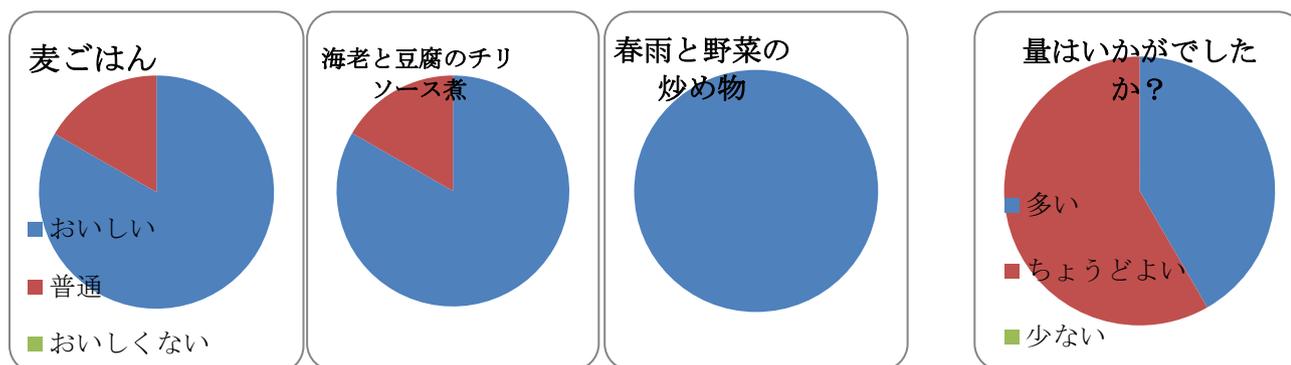
残 食 率

	ごはん	パン	副食
4月	0. 14%	0. 2%	0. 35%
5月	0. 98%	0. 35%	0. 25%
6月	0. 2%	0. 06%	0. 05%
7月	0. 15%	0. 0%	0. 08%
9月	0. 1%	0. 0%	0. 22%
10月	0. 22%	0. 02%	0. 07%
11月	0. 07%	0. 13%	0. 04%
12月	0. 48%	0. 0%	0. 06%

子どもは、めん類、揚げ物、カレーライスなどを好んで食べているようだ。
 和え物や、魚の煮付け、魚の唐揚げ、味が薄かったりはっきりしなかったりするもの、食べなれていないものは残す傾向にある。
 しかし、本校の児童は、残量は少なく、よく食べている。

本日の給食について**(1) 今日の給食はいかがでしたか？感想をお聞かせください。**

- ・何十年ぶりの給食でしたが、栄養士の先生・他の先生たちの子どもたちへの思いがあり、考えた献立で、とてもありがたく思い、食への感謝です。とてもおいしかったです。
- ・久しぶりに給食を食べてうれしかった。昔は給食が苦手だった。
- ・楽しかったし、子どもの様子が分かって良かった。
- ・おいしかったです。
- ・おいしかったです。色々と学べて良かったです。
- ・味付けも良くて、おいしく食べました。子どもたちの様子も見れて良かったです。
- ・濃い味付けではないけれど、しっかり味があっておいしかったです。
- ・小学校の給食を食べる機会はこの日しかないので良かったです。
- ・味付けがとてもおいしかったです。
- ・勉強になりました。給食とてもおいしかったです。
- ・楽しく食べさせてもらいました。勉強会も楽しかったです。

(2) 味はいかがでしたか？学校給食に望むこと、感じたこと、ご質問などがあればご記入ください。

- ・栄養士の先生方のご苦労が改めて感謝しています。とてもおいしい給食でした。
- ・家では好き嫌いがあり、嫌いなものは食べないから、給食は残さずに食べてほしいと思うけど、家でも嫌いなものを少しでも食べさせないといけないな・・・と思いました。
- ・これからも安心して給食を食べさせられると実感しました。
- ・子どもたちのことを考えて作られているので、それが知れてよかったです。
- ・これからもバラエティ豊かでおいしい給食をお願いします。
- ・子どもたちに食べやすい味つけ・大きさにしていただいているので、安心できます。

保護者の感想から、味についての肯定的な感想が多くあがった。また、「子どもたちの様子が分かってよかった」という声も多かったので、来年度の給食試食会の参考にしていく必要がある。また、栄養士の先生が給食の献立をたてる時の思いが伝わり、「安心して給食を食べさせられる」という感想もあった。